

(様式1)

## 平成23年度 第4次総合計画進捗状況表

## 1 政策一施策

都市像	02 地域力を活かし、生きがいをもって支えあう健康都市		
政策	03 ともに生きる心を育てる		
施策	01 相互に理解し、支え合う大切さを共有できるよう支援する		
めざす内容	身近な家庭や地域、学校、職場などの関わりの中で、いのちの大切さや、思いやりの心を育み、お互いの多様性を認め、ともに生きる社会の実現をめざします。		
<b>施策の取り組みの柱と方針</b>			
<p>1 福祉についての意識啓発機会の充実と支援  ○関係機関や企業などと連携しながら、家庭や地域、企業などで福祉を学ぶ機会の提供につとめるとともに、小中学生や高校生を対象とした福祉教育の機会を支援するなど、福祉に関する理解と関心の向上を図ります。</p> <p>2 こころのバリアフリーの推進による誰もが暮らしやすい生活環境づくり  ○年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、社会活動へ自由に参加できるようこころのバリアフリーを推進し、互いに異なる個性に気づき、尊重しあうことのできる地域社会を実現します。  ○地域や市民活動団体などと連携しながら、お互いに理解と交流を深めることで相手への配慮や思いやりの醸成につなげ、ひいてはみんなが自然に助け合い、支えあえる地域づくりをめざします。</p>			
施策担当課	所 属 (部・課)		
	主管課	福祉政策課	関連課

## 2 成果指標の実績とめざそう値

指標名及び指標番号	単位	現状値	2010	2012	2017	指標の意図・説明
			H22年	H24年	H29年	
29 障がい者が共に暮らせる環境づくりの満足度	%	19 (2006)	26.9%	25	33	障がい者が暮らしやすいまちとなっているかどうかをみようとする指標です。施設やこころのバリアフリー化を促進しながら、満足度の向上をめざします。
		取得方法または出典など	市民意識調査。			
		H22年度実績に対するコメント または指標値の把握が困難な場合はその理由	障がい者など体に不自由を感じている人たちが本市で活動しやすいと感じてもらうことがまず重要である。そのためには「なは障がい者プラン」、「なは高齢者プラン」に基づいた施策をしっかりと進めるとともに、個々人が課題や対応策を知ることが必要である。			

## 3 今後の展開方針

第二次那覇市地域福祉計画に基づき、22年度より行っている小学生を対象としたサービス介助セミナーを継続し、教育の場での啓発事業を拡大していきたい。
--